

第 14 回日本放射線事故・災害医学会年次学術集会の開催について

第 14 回日本放射線事故・災害医学会年次学術集会

大会長 高田千恵

本学術集会では、“「誰の仕事か」を超えて—専門知でひらく事故・災害への向き合い方—”と題しまして、国内外の原子力動向や放射線防護に関する最新知見の共有に加え、事故対応の経験や、事業者・産業医・災害医療・地域医療といった多様な視点からの議論を予定しております。

分野横断的な対話を軸とした討論を通じて、現場と制度、平時と有事の接点における理解を深め、実践につながる知見の共有を目指します。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

■主催・後援

主催：日本放射線事故・災害医学会 (<http://jaradm.org/>)

後援：日本保健物理学会 (<https://www.jhps.or.jp/>)

■大会 Web サイト

<https://jaradm14.sakura.ne.jp/index.html>

■会期

令和 8 年 9 月 26 日（土）

※前日に希望者向けのオプションツアーを予定しています。

■会場

東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」（茨城県東海村）

■開催方式

- ・現地での対面方式のみといたします。
- ・会員の皆様の研究発表の場として「ポスター形式」の発表を実施します。

■大会ポスター

以下のリンクから大会ポスターのダウンロードが可能です。

概要の確認及び周知にご利用ください。

<https://jaradm14.sakura.ne.jp/congress/page.html>

■プログラム（講演タイトルは変更の場合があります。）

【第 1 部 国内外の原子力動向を探る】

オープニング講演：最近の我が国における原子力分野の動き

特別講演 I：UNSCEAR 報告書及び ICRP 勧告を踏まえた IAEA 安全基準策定の現状と展望

特別講演 II：国内外における表面汚染密度管理の歴史と現在

【代表理事講演】

最近の放射線事故・災害と医学的対応

【第2部 事業者と医療諸分野の連携について考える】

オープニング講演：東海村の原子力施設における事故対応の経験

パネルディスカッション

- ・原子力災害医療体制の現状と課題（総括）
- ・事業者の安全管理・放射線防護の視点から
- ・事業者の産業医の視点から
- ・災害医療を担う視点から
- ・地域保健を担う視点から
- ・総合討論

■大会事務局

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所 放射線管理部

〒319-1194 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地33

TEL: 080-9183-4075 / FAX: 029-282-1873

Mail: jimukyoku@jaradm14.sakura.ne.jp